

部長会議付議事案書（報告）

（令和5年2月1日）

提案課名 はだの魅力づくり推進課

報告者名 遠藤 一成

<p>事案名</p>	<p>ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（仮称）を策定することについて</p>	<p>資料 有 無</p>
<p>提案趣旨</p>	<p>表丹沢に点在する様々な分野の資源を磨き、つなげ、新たに触れる機会を増やすことで、一層の魅力向上を目指すため、令和2年9月に表丹沢魅力づくり構想を策定しました。構想に掲げる表丹沢東エリアのうち、県道70号沿いを中心としたヤビツ峠・蓑毛周辺エリアを対象に、具体的な実施事業を明確にし、表丹沢の豊かな自然の保護と利用の好循環とエリアに点在する様々な資源の活用により、持続可能な地域を創出することを目的に、「ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（仮称）」を策定するものです。</p>	
<p>概要</p>	<p>1 計画の構成案等の概要（資料のとおり）</p> <p>(1) はじめに ヤビツ峠・蓑毛周辺のある1日（計画の実行により実現されるヤビツ峠・蓑毛周辺のある1日を物語として記載）</p> <p>(2) 第1章 計画の策定に当たって（目的、位置付け、対象エリア、計画期間）</p> <p>(3) 第2章 ヤビツ峠・蓑毛周辺の特徴（特徴・資源、現状と課題）</p> <p>(4) 第3章 ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（コンセプト、基本方針・個別施策）</p> <p>(5) 第4章 計画の実現のために（進行管理の体制、進行管理の考え方）</p>	
<p>経過</p>	<p>令和2年 9月 表丹沢魅力づくり構想策定</p> <p>令和4年 6月17日 学識経験者及び地域団体、民間事業者、関係行政機関等で構成するヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（仮称）策定検討協議会（以下、「協議会」という。）の設置</p> <p>同年 8月4日 表丹沢魅力づくり構想推進会議にて、計画策定に着手すること及び庁内検討部会の設置等について協議</p> <p>同年 8月～ 協議会の開催 3回（8月、10月、12月）</p> <p>同年 8月～9月 現況把握調査の実施（ヒアリング調査、アンケート調査等）</p> <p>同年10月20日 4部9課で構成する庁内検討部会の開催</p> <p>同年10月～ ワークショップの開催 3回（10月、11月、12月）</p>	

今後の 進め方	令和5年	2月中旬	協議会及び庁内検討部会にて、計画素案について協議
	同年	3月	計画案の作成及び庁内意見照会
	同年	4月中旬	協議会にて計画案の協議
	同年	5月上旬	定例部長会議にて計画案の報告
	同年	5月～6月	パブリックコメントの実施
	同年	7月下旬	協議会にて計画案の協議
	同年	8月上旬	表丹沢魅力づくり構想推進会議にて計画案の報告
	同年	8月中旬	計画策定

ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（仮称）の構成案等の概要

令和5年2月1日

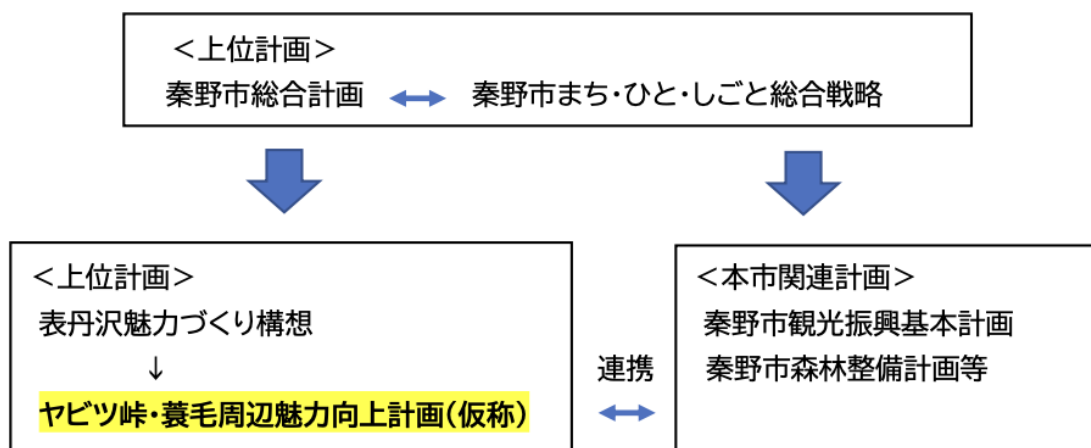
はだの魅力づくり推進課

1 計画の目的

表丹沢魅力づくり構想に掲げる表丹沢東エリアのうち、県道70号沿いを中心としたヤビツ峠・蓑毛周辺エリアを対象に、具体的な実施事業を明確にし、表丹沢の豊かな自然の保護と利用の好循環とエリアに点在する様々な資源の活用により、持続可能な地域を創出することを目的に、「ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画（仮称）」を策定するものです。

2 計画の位置付け

構想のアクションプランとして策定するものです。また、地域住民や関係事業者、関係行政機関といった幅広い関係者が、共通のビジョンを持って、計画の掲げた具体的な事業を実施するなど、公民連携による地域づくりを進めるための計画とします。



3 計画期間

令和5年8月から令和8年3月まで（2年8か月）

※構想の見直し時期に合わせた期間とし、取組及び数値目標の達成状況や社会情勢の変化を鑑み、必要に応じて延長・見直しをするものです。

4 計画の対象エリア



(表丹沢魅力づくり構想から抜粋)

5 計画の構成案

はじめに

ヤビツ峠・麓毛周辺のある1日(計画の実行により実現される、ヤビツ峠・麓毛周辺のある1日を物語として記載)

第1章 計画の策定に当たって

- 1 計画の目的
- 2 計画の位置付け
- 3 対象エリア
- 4 計画期間

第2章 ヤビツ峠・蓑毛周辺の特徴

1 ヤビツ峠・蓑毛周辺の特徴・資源

- (1) 都市部から訪れやすい立地
- (2) 豊かな自然環境
- (3) 多様なアクティビティ
- (4) 歴史・文化資源の点在

2 ヤビツ峠・蓑毛周辺の現状と課題

(1) 現状

観光に関する動向、コト消費市場の更なる拡大、新東名の秦野市域区間の開通、都市部からのニーズなど

(2) 課題

ア ヤビツ峠・蓑毛らしい体験コンテンツや特産品の不足
(モノ・コト)

イ 新たな体験拠点、既存拠点の整備・充実 (場所)

ウ 交通環境の改善、回遊性の向上 (移動)

エ 担い手や後継者の育成、団体間の連携不足 (ヒト)

オ 情報の充実と発信強化 (情報)

第3章 ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画

1 コンセプト

自然環境や地域社会を良く (再生) していきながら
自分自身も良い状態 (幸せな状態) になれる場所の実現

2 基本方針 (個別施策は今後検討)

- (1) 地域資源を活用した新たなサービスの造成 (モノ・コト)
- (2) 滞在環境の魅力の向上 (場所)
- (3) 交通ネットワークの充実 (移動)
- (4) 人を起点とした魅力づくり (ヒト)
- (5) 情報発信の充実 (情報)

第4章 計画の実現のために

1 進行管理の体制

2 進行管理の考え方 (P D C A)